

いかわ

NO. 135

平成30年7月17日

発行：秋田県井川町議会

# 町議会だより



井川義務教育学校 初の運動会  
(団結1年生～9年生の応援風景)

第2回定例会（条例改正・陳情等）… 2

常任委員会審議 …… 4

2議員が一般質問 …… 6

私のひとこと・議会のうごき …… 8

6

月議会

(会期・6月5日～7日)

平成30年度

# 一般会計補正予算 可決

4,140万円を追加、総額 30億2,890万円に

- 災害復旧に係る県単砂防事業負担金 600万円
- 健康センター非常用発電機設備改修費 659万2千円
- 子育て支援多世代交流館の職員賃金 623万6千円



各種イベントで賑わう「みなくる」

6月定例会は6月5日から7日までの3日間の会期で開かれた。町長の行政報告では5月18日の大雨の対応として午後2時20分災害警戒対策部を設置、町内全域に避難勧告を発令し、また被害状況等報告した。農業農政では水稲の生育は概ね良好、経営所得安定対策の各種交付金は例年並を予定。4月からオープンの子育て支援多世代交流館「みなくる」・義務教育学校はスタート以来順調な状況、国花苑さくらまつりでは新たに花火の打ち上げを行った。また外国語指導助手（ALT）の交代が今夏予定。その他多岐にわたり報告。

## 審議議案と採決の結果

◎井川町非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

賛成多数可決

◎井川町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

賛成多数可決

◎井川町国民健康保険条例の一部を改正する条例

全員賛成可決

◎工事請負契約の締結  
・平成30年度井川町役場庁舎外壁改修工事

全員賛成可決

◎平成30年度井川町一般会計補正予算  
・4140万円を追加、累計30億2890万円に

全員賛成可決

◎平成30年度井川町国民健康保険事業特別会計補正予算

全員賛成可決

◎平成30年度国民健康保険井川町診療所特別会計補正予算

全員賛成可決

◎平成30年度井川町介護保険事業特別会計補正予算

全員賛成可決

◎専決処分した事件の承認

- ・平成29年度井川町一般会計補正予算
  - ・井川町税条例の一部を改正する条例
  - ・井川町国民健康保険条例の一部を改正する条例
  - ・平成30年度井川町一般会計補正予算
- 以上4件を承認

# 伊藤 讓 議員

## 逝去 (享年63歳)



議会の中枢であった伊藤讓議員が平成30年5月20日午後10時25分永眠された。葬儀は、令夫人やす子様を喪主として5月24日午後3時から虹のホール・レゼール湖東において、哀悼の念耐え難く悲しみの中にもしめやかに執り行われた。大勢の会葬者が参列の中、議会を代表し藤田俊悦議長が弔辞を奉読した。また、6月5日の第2回議定例会において議席に花束を捧げ

て黙祷し、教育民生常任委員長の浅野義幸議員が、ご遺族の持つご遺影が見守る中で追悼演説を行い、故人の議員活動の功績を讃えた。伊藤讓議員は、平成16年に初当選以来4期目で、この間総務産業常任委員長、教育民生常任副委員長などを歴任、自治功労者として平成24年南秋田郡町村議会議長会表彰、平成29年秋田県町村議会議長会表彰の荣誉に輝いている。今後の伸展を期すべく可能性を探りながら活動を展開していた矢先の急逝に、その無念さを思うと惜しまれてならない。ここに故人のご功績を偲び謹んで哀悼の意を表します。

# 陳情

6月定例会に4件の陳情書が提出され、審査の結果全陳情を採択とし、関係機関に意見書を提出した。

### 採択 ..... 全員一致

● 地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情

◆ 連合秋田男鹿潟上南秋田地区連絡会  
議長 太田 修

● 教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書採択の陳情

◆ 秋田県教職員組合  
執行委員長 櫻田 憂子

● 臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情

◆ 移植ツーリズムを考える会  
理事 井田 敏美

● 地方消費者行政に対する財政支援(交付金等)の継続・拡充を求める陳情

◆ 秋田弁護士会  
会長 赤坂 薫

# 選挙

● 井川町・潟上市共有財産管理組合議会議員の選挙について

提案理由 現議員は平成30年8月31日をもって任期満了によるもの

### 当選者

石井 茂 渡部 豪士  
浅野 義幸 草階 廣治  
工藤久兵衛 藤田 俊悦

● 八郎湖周辺清掃事務組合議会議員の選挙について

### 提案理由

欠員による補充によるもの

### 当選者

石井 茂

## 議会だより編集委員長の互選

伊藤讓氏(委員長)の逝去により議会だより編集委員の補充及び委員長の互選が行われた。

### 新委員長

湊 文博

### 新編集委員

浅野 義幸

- ◆ 条例の一部改正
- ◆ 補正予算
- ・ 一般会計
- ◆ 総括質疑

# 専任(特別職)を承認!

## ◆ 総務産業

**問** こともセンター園長は今後も特別職または兼務でいくのか。しっかりとした位置づけで地位の保証も必要である。

**答** 専任の場合32万円という給与の算定額の根拠は?

**答** 園長は、幼保連携型認定こども園がスタートした時点で教育長が兼務していた。

現在規定の園長は4級、課長補佐クラスである。一般職では当面該当者がいないと判断しているが、将来的には一般職から考えている。

**問** 園職員の給与水準を考えると、6級相当額の32万円を上限として町長が決める形とした。

**問** 園長には資格を有する方が適切であると

思うが、同等の能力を有していると判断される方々に交渉しても断られることも想定される。

**結果、同等の能力レベルを下げたまで園長を置く必要があるのか。**

**答** 教員の免許と保育士の登録と校長や園長などの5年の実務経験が必要とされるが、その全てを満たしているというのは難しい。

**同等の判断は任命権者の判断となる。**

断られた場合、町長が園長を兼ねることを想定しており、誰でもこの職に充てるものではない。

**問** 国保会計の、所得割・資産割・均等割・平等割の四方式が、資産割を除いた三方式に変わるが、井川町が三方式にするメリットはなにか。

**答** 25市町村のうち、資産割があるのは10団体で15団体は資産割がない。

町として資産割をなくした場合、150万円程減ってしまうのでメリットはない。しかし、町内に資産のある人が対象となるが、町外に資産のある人は対象とならないとい

った問題もあり、資産割廃止の流れの中、今年度国保会計制度が大きく変わるタイミングで外した方が良いと判断した。

**問** 県単事業の土砂崩れの井内町内の工事規模はどのくらいだったのか。別の箇所でも土砂崩れの可能性があるのではないか。

**答** もっと大きな重機を使い、短時間で復旧させるべきだったのではないか。

**問** 災害復旧工事は現状復旧工事であるが、本事業は防止対策事業であるため、若干広めの工事となる予定である。

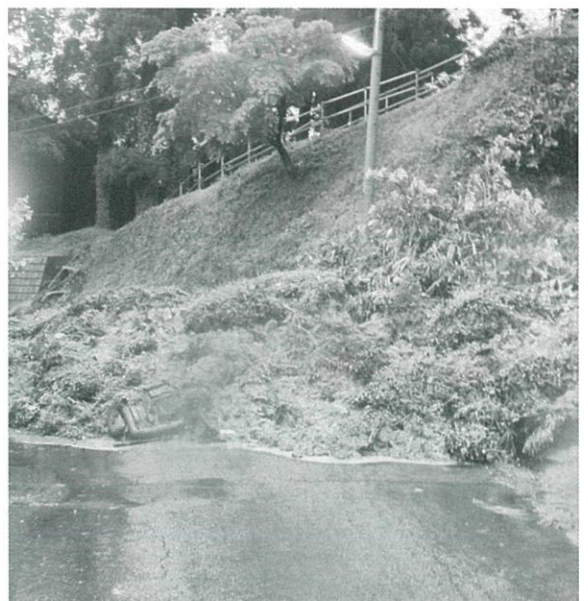
**答** 土砂撤去作業は急な発注であり大型重機の手配が出来なかったため約2日間かかった。

**問** 全国的にため池の決壊が多いという話を聞くが、国花苑のため池が災害により決壊した場合の修繕は、どこ

**管轄なのか。**

**答** ため池自体の被災は管理者の管轄である。昨年、大雨の影響で南台のため池が決壊し、現在工事中である。ため池の検

査・点検は、県で一斉点検を実施し終了している。特にため池が決壊し、住家に危険が想定される場合、ハザードマップを県で作成している。現在は坂本と大菅生沢のため池が該当している。



井内神社近辺土砂崩れ

**問** 町長の公用車運転手を募集しているが、最近運転手の入れ替わりが早いのは何故か。臨時職としての待遇面や、時間の不規則さの改善など、何らかの対策をとらない限り、同じことの繰り返しになるのではないか。

**答** 現在の運転手の方が

辞めるのは、嫌なことがあった訳ではなく、元々希望していた職が見つかったためである。臨時職員とはいえ待遇を改善するとすると、他の臨時職員との均衡が問題となる。

職の性質上応募があったからといって誰でも良いわけではない。適正な方が見つかるまでは現行職員でカバーするか、タクシーを使うか、まだ結論が出ていない。将来的に、正職員として雇うことは難しい。

他の業務と合わせて運転業務をおこなうということも考えていかななくてはならない。現行はこれ

# こどもセンター園長

◆ 総括質疑

- ◆ 補正予算
- ・ 一般会計
- ・ 町国民健康保険事業会計
- ・ 町診療所会計
- ・ 町介護保険事業会計

までどおりの募集をしている。

**問** 町のトップを乗せる運転手が臨時職員でよいのか。土日もない、夜も遅い不安定な中でいくのか。

**答** 現在の状態は、合理化からきた流れである。10年位前までは正職員であった。臨時職員になつてからは入れ替わりが多く、空白期間もある。その間は現行職員が交代で務めたり、なかなか難しい状態であった。

町長に伝え、改めて考えてみたいと思う。

◆ 教育民生

**問** 今回井川町が担当する消防大会を五城目消防署で開催するのはなぜか。以前は国花苑で開催していた。また、義務

教育学校グラウンドは検討したか。

**答** 国花苑は芝生であり、競技の際に滑るという声があった。旧井川小学校グラウンドを検討したが、グラウンドへ至る道路が狭く、消火栓も近くにない等の問題が明らかになった。義務教育学校グラウンドは、芝生と土の境目の段差が大きく不適当となった。井川町外で場所を探したところ、五城目消防署で開催となった。

**問** 消防団員は114名だが、定員は140名であり足りない分はどうするのか。

**答** 広報で募集しており、幹部会でも人数を確保するように伝達している。引き続き確保に努めると同時に、地元企業に団員加入の協力と協定をお願いする。

**問** 新屋敷町内のカーブミラーが壊れているのを把握したのはいつか。事故につながりかねない事については、予算に関わらずすぐ実施すべきであり、今まで放っておいたのはなぜか。

**答** 3月議会が終わった頃知った。予算が無ければ対応できない面もあるが、今回の件については、町内会との連絡が疎かであった。今後は連絡を密にし、余力ある予算計上を考えている。

**問** この3月に、井川中学校グラウンド改修工事が施工され終了したはずだが、今回グラウンドトラックの改修工事として、補正予算が計上されているのはなぜか。また、設計上に問題があり、施工業者からは、工事内容等について提案はなかったか。

**答** 業者は施工段階から砂が多いと判断していた。業者と相談の上、粘性の強い赤土をブレンドし施工したが、設計上砂が多かったため、業者からはこれで良いのかと提案を受けたが、水はけ重視で施工した。

**問** 医師の通勤手当は、どこまで支払われているか。また、送迎時に事故が発生した際の責任の所在はどうなるか。

**答** 通勤手当は井川さくら駅までである。職員の送迎であり職務の範囲内である。事故発生時には町の責任も発生し、保険も適用される。

**問** 診療所に新たに導入した胃カメラやエコー等の利用者数を、9月議会の際に平成30年8月までの数値を教えてください。

**答** 9月議会の際に利用者数を提出する。

**問** 義務教育学校の芝生管理はいつから行うのか。管理は年何回行う予定か。また、町民球場も同様に予定しているか。

**答** 町民体育大会前に一度実施する方向で話を進めている。管理は年7回を予定している。肥料の散布や機械での除草できない作業は、手作業での除草を実施する予定。雑草が伸びてきたら実施するという状況である。



義務教育学校グラウンドトラック改修工事

# 一般質問

## 昨年7月と今年5月の記録的大雨の対策は

### 各機関との連携を検討する



遠藤 政勝  
議員

**問** 5月の記録的大雨で災害計画等に修正はないか。

**町長** 町の災害ハザードマップと一致している。但し、満水時での雨のため水路からあふれる状況なので、町内会、土地改良区等話し合い、水路等のマップを調整をする。

**問** 動員計画の職員の対応状況と消防団員の確保に問題はなかったのか。

**町長** 職員の仕事量から担当部署にかなりの負担がかかったので、検討課題だ。消防団員については、平常の日であったので最初は10名程度、最終的には49名となったが初期対応に課題が残った。機能別団員、町内企業にも相談することも考えた。



大雨で浸水した道路とビニールハウス

**問** 全地域での災害、資機材は充分であったか。

**町長** 土のうは河川近く常時300個用意してあるが不足になり1000個作った。この後は、どこを初期対応する等の戸数を精査する必要がある。また、土のう保管場所を現在の東部地区の他に西部地区にも一ヶ所設置する様指示している。

**問** 全般的な課題は何か。

**町長** 床上浸水後にどう対応するのかの課題と見直しが必要。消防団員の確保、土のう資材の準備、役場の体制、連絡指示等、消防団、土地改良区、湖東消防署、町内会等の各機関と連携も必要。

## 高齢者に生きがいを持って自立させるには 見守りと社会参加を促したい

を除く一人暮らし世帯は191（5年前より50世帯増）。65歳以上の高齢世帯は217世帯（5年前より45世帯増）となっている。

**問** 自立したいが、何が不安なのか。食事の用意の際の火の取扱いが心配な人も多いのでは。モデルとして地域でかなりの回数で食事と会話の機会を提供するのも一つ方法ではないか。

**町長** 何が不安なのかは各家庭で違うと思うが、本人も離れている家族も火は気にとめていると思う。湖東消防署でも巡回の際には声かけをしている。



今戸コミセンでの楽しい「ふだん着サロン」

## 町の農業振興ビジョンは 既存の計画を見直しながら進めていく

**問** 米政策も大転換を迎え、団塊の世代も70歳代に、町の農業振興ビジョンはどうするか。

**町長** 町では様々な振興計画があるが、農業各団体が組織されている農業再生協議会の「水田フル活用ビジョン」が中心だ。また平成25年度から

。生活に不安な人にはケアプランを作成しており41名が対象。また、低所得者の87名へは牛乳の配布と安否確認をしている。週2回の配食サービスを増すのは難しい。社会参加を促す具体的な検討も考えたい。

「人・農地プラン」計画もあり、農業委員会が主体となっている。

地域農業の将来に関する調査では、若い農業者が減少、農家の高齢化が進み、地域を支える担い手がいない等の結果が出ている。

**問** 現在の一人暮らし高齢者の状況は。  
**町長** 65歳以上の施設



石井 茂  
議員

# チャレンジデー 年1回開催での効果は疑問

## あくまでもきっかけづくり

**問** 全国一斉開催というものの、参加したのは約1900ある市区町村中121自治体だ。秋田県は全自治体が参加しているが、理由は容易に想像できる。

年1回の開催でどれ程健康づくり・まちづくりに寄与しているか甚だ疑問に思う。

チャレンジデーに対する町長の認識は。

**町長** 年齢、性別を問わず日常的なスポーツの習慣化や、健康増進・地域活性化に向けたきっかけづくりを目的とした住民総参加型のスポーツイベントだ。

あくまでもきっかけづくりという意味では良い取り組みだと思っている。

## 介護予防対策 どう見ているか

### 若いうちからの 健康づくりが大事

**問** 介護保険料が第1期に比べ2倍以上になった。保険料はサービス利用量に左右されるので、介護予防にどれだけ力を入れるのが重要だ。第7期計画によれば、潜在的介護予防対象者を把握し各種事業を展開していくとあるが、現時点での介護予防対策をどう見ているか。

**町長** 元気な人から少し不自由な人にまで対応した、体操や頭を使うゲーム、笑いや食生活改善などバランスのとれたメニューを実施している。若いうちからの健康づくりが重要と考える。そのためにはまず検診を受けて自分の健康状態を把握することが大事だ。町の特徴として、生活

**問** 諸事業を展開する時、数値目標を設定し、参加者数を増やしてはどうか。  
**町長** 町が引っ張り出すの必要かと思うが、地域で仲間を作って参加者を増やすことがポイントだ。

**問** 参加自治体が少ないことについてどう思っているか。  
**町長** 他自治体の事は

わからないが、集計作業など手間がかかることも一つの要因ではないかと思う。



チャレンジデー 5月30日

ラジオ体操の集い（大倉町内）

## 新教育基本法に対する見解は 旧法の姿勢をしっかりと引き継いだものだ

**問** 教育は百年単位で考えることだと言います。また、新しい時代に即した法律に変えるべきだとも言います。しかし、変えてはならないこともあるのではと考える。  
12年前に改正された教育基本法、特に前文、第1条、第2条に対する見解を伺いたい。

下などさまざまな問題が生じてきた。旧法の姿勢をしっかりと引き継いだものと理解している。郷土や国を愛するといふ記述については、我国のみを尊重し愛するとか自国を賛美するといったような片寄った狭い姿勢ではないと考える。

**教育長** 子供達を取り巻く環境が大きく変わり、学ぶ意欲、規範意識の低

習慣病から介護状態に入る人が多いように思う。

ひとこと

私の



小今戸町内会長  
遠藤 民雄

町内会活動と地域づくり

今年も梅雨期に入り大雨災害の心配な季節を迎えています。今年も災害の少ない年であるようお願いいたします。

さて、今年の町内会総会に於いて、再び町内会長を託され早4カ月が経過としております。そんな折、「わたしのひとこと」ということで執筆の依頼があり、今回は町内会の活動状況を紹介します。町内会の役割について考えたいと思います。

当町内会も例外なく高齢化に直面し、今後の町内会活動に支障をきたすことも想定されている現在、町内会員の交流や情報交換の場をより多く設けようと考え、3年前より町内会の提案により「小今戸健康倶楽部」を設立しました。これは、年齢60歳以上の方を対象に、週4回のウォーキングを実施し、親睦を深めあいながら健康づくりをすることが目的で、現在20名程度の会員が自身の健康づくりを考えながら活動しています。

また、町内会員が最も多く集まる町内運動会では、老人クラブの皆さんより奉仕作業として運動場の草取りを行っていただいたり、各区長さんが協力して昼食を作ったり、全町運動会では、参加者の取りまとめ、応援等について婦人会の皆さんより協力をいただいております。

こうした町内会活動を継続して行うことにより、各世代や団体等が協力しあう状況が生まれ、会員同士の結びつきになり、たとえ一人ひとりの役割は小さくても、それが町内会事業の推進に大きな力になってきたと思っております。これからも町内会員の協力をいただきながら、明るく住みよい地域づくりができるよう努めてまいります。

議員派遣

南秋田郡町村議会議員大会

**派遣目的** 町村議会議員が一堂に会し、地域づくりを推進するため地域で抱えている課題や情報を交換し、地方自治の振興に資する。  
**派遣場所** 大潟村〔サンルーラル大潟〕  
**派遣期間** 平成30年7月20日 1日間

町議会だより編集委員の先進地視察研修

**派遣目的** 県外の先進地を調査研究し、議会広報の編集技術の向上と誌面内容の更なる充実を目的とする。  
**派遣場所** 山形県川西町議会  
**派遣期間** 平成30年7月26日～27日 2日間

秋田県町村議会広報研修会

**派遣目的** 住民と議会との意志疎通と相互信頼を培うため重要な役割を果たしている広報の内容の充実を図るため編集技術の習得に資する。  
**派遣場所** 秋田市「ルポールみずほ」  
**派遣期間** 平成30年8月1日 1日間

秋田県町村議会議員研修会

**派遣目的** 議会の活性化及び議員の資質向上を図り、議会の円滑な運営に資する。  
**派遣場所** 秋田市「市町村会館」  
**派遣期間** 平成30年8月1日 1日間

議会のうごき

- 4月9日 井川義務教育学校開校式及び入学式 (井川義務教育学校)
- 4月13日 井川町交通安全対策協議会 (役場：会議室)
- 4月23日 南秋田郡町村議会議長連絡協議会臨時総会 (役場：会議室)
- 5月21日 井川町緑化並びに環境美化推進委員会 (農村環境改善センター)
- 5月24日 議長・副議長・議会運営委員会 (役場：正副議長室)
- 5月25日 第2回議会運営委員会 (役場：正副議長室)
- 5月26日 井川義務教育学校大運動会 (義務教育学校グラウンド)
- 5月28日～29日 全国町村議会議長・副議長研修会 (東京都：東京国際フォーラム)
- 5月30日 井川町農業再生協議会総会 (役場：会議室)
- 5月31日 南秋田郡町村議会議長連絡協議会 (役場：会議室)
- 6月1日 井川町功労章授与式 (役場：会議室)
- 6月1日 八郎湖周辺清掃事務組合議会臨時会 (クリーンセンター)
- 6月5日～7日 第2回井川町議会定例会 (役場：議場)
- 6月7日 議会だより編集委員会 (以降5回)
- 6月14日 社会福祉協議会理事会 (役場：会議室)
- 6月24日 第57回町民体育大会 (井川義務教育学校グラウンド)

編集後記

同僚議員の伊藤譲さんの計報には驚いた。心からご冥福をお祈りいたします。やはり健康管理は健診と早期発見・治療が大事と改めて思った。

5月の記録的な大雨は全町に被害。いままでは大きな災害はない地域と思っていたが、考え方を改め、災害に対する備えが必要。町も町内会もそして個人もこの事を認識し役割分担と防災訓練が必要と思うこの頃である。

(遠藤 政勝 記)

